

福島町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

町内には集落間を運行する公共交通が存在しないことから、松前線廃止代替バスが運行している国道沿線以外は交通空白地となっている。また、当町の高齢化率は、令和7年1月1日時点で約51.9%と非常に高く、今後、少子化の影響により高齢化がさらに深刻化することが確実であり、今後ドア・ツー・ドア性の高い移動手段の確保が重要になると考える。

本事業は、地域間幹線系統である松前線廃止代替バスに接続する地域内フィーダー系統の運行により、町内の交通体系を確立することで公共交通の利便性向上を図り、もって利用促進を図るものである。

生活交通確保維持改善計画の目標

指標	目標値	指標	目標値
延べ利用者数	3,022人	利用者満足度(満足の割合)	80%
1便あたりの利用者数	2.16人/便	収支率	12.1%
町民一人あたりの利用回数	0.93回/人		

令和7年度事業概要

福島町デマンドバス:岩部線

運行方法: デマンド型運行

運行経路: 岩部地区 ~ 千軒地区を除く福島町全域 ~ 吉岡・美山地区

運行便数: 1日10便 ※土・日・祝及び年末年始(12/30~1/3)は運休

運賃: 1回300円、障がい者(※1)半額(150円)、2乗車目以降(※2)半額(150円)、小学生以下無料、妊婦等無料(※3)

※1: 身体障害者手帳保持者・療養手帳保持者・精神障害者手帳保持者 ※2: 同じ利用者が同一日に2回以上利用する場合

※3: 妊婦または、乳幼児の保護者が乳幼児と一体となって乗車し、母子手帳を提示する場合にあつては、運賃を無料とする。

支払方法: 現金又は回数券 ※回数券割引率: 16.7%(販売額: 1,500円、利用可能額: 1,800円)

予約: 第1便から第8便: 運行開始の1時間前まで それ以外の便: 当日の午後1時まで

地域公共交通の現況

- ・福島町デマンドバス(岩部線: 1路線)
- ・函館バス(株)(木古内松前線: 1路線)
- ・スクールバス ・タクシー事業者(1社)
- ・温泉優待バス(月約20回運行)

協議会開催状況

- ・令和6年度 第1回協議会 令和6年6月14日(金)
 - (1) 令和6年度予算(案)について
 - (2) 令和6年度福島町デマンドバス運行計画について
 - (3) 千軒地区デマンド型交通試験運行の継続について
- ・令和6年度 第2回協議会 令和7年1月10日(金)
 - (1) 福島町デマンドバス事業評価について
- ・令和7年度 第1回協議会 令和7年6月18日(水)
 - (1) 令和7年度福島町デマンドバス運行計画について
 - (2) 令和7年度予算(案)について
- ・令和7年度 第2回協議会 令和7年11月4日(火) 書面開催
 - (1) 千軒地区デマンド型交通の更新登録について
- ・令和7年度 第3回協議会 令和8年1月15日(木)
 - (1) 福島町デマンドバス事業評価について
 - (2) 令和8年度デマンドバス運行計画に向けた検討について

令和7年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

【プロセス】

福島町地域公共交通活性化協議会では、令和5年4月1日付けで福島町地域公共交通計画を策定し、地域公共交通の維持に向け、利用促進の取り組みを行っている。

【創意工夫】

①利用促進・周知の取り組み

・町民の集客が見込まれるイベントにおいて、福島町デマンドバスの利用方法や料金体系の周知、車両への体験乗車を実施している。

②全戸配布による情報提供

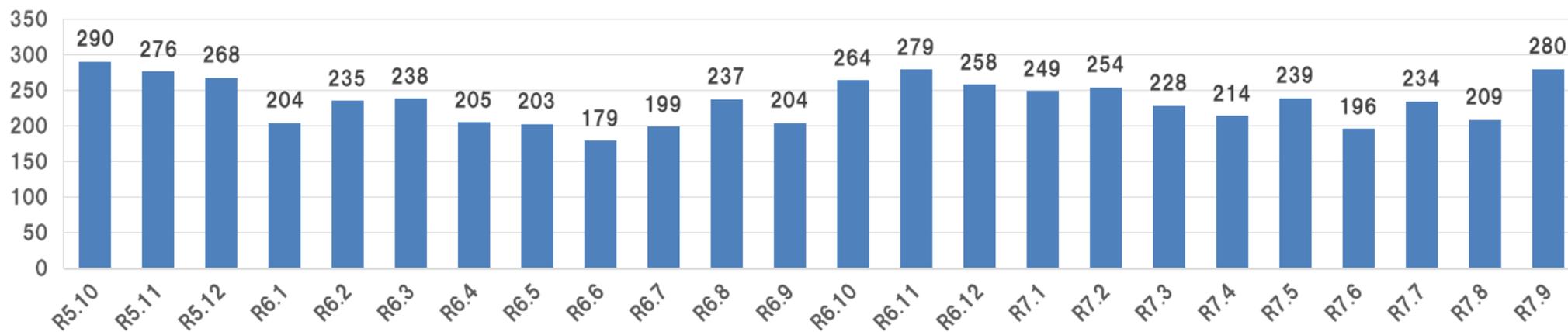
・町内全戸を対象に、福島町デマンドバスの利用方法や、令和5年10月より導入した妊婦等（妊婦及び乳幼児の保護者）無料制度を含む現行の運行サービスの周知に加え、利用促進に関する取組を掲載したニュースレターを発行している。

2) 運行系統



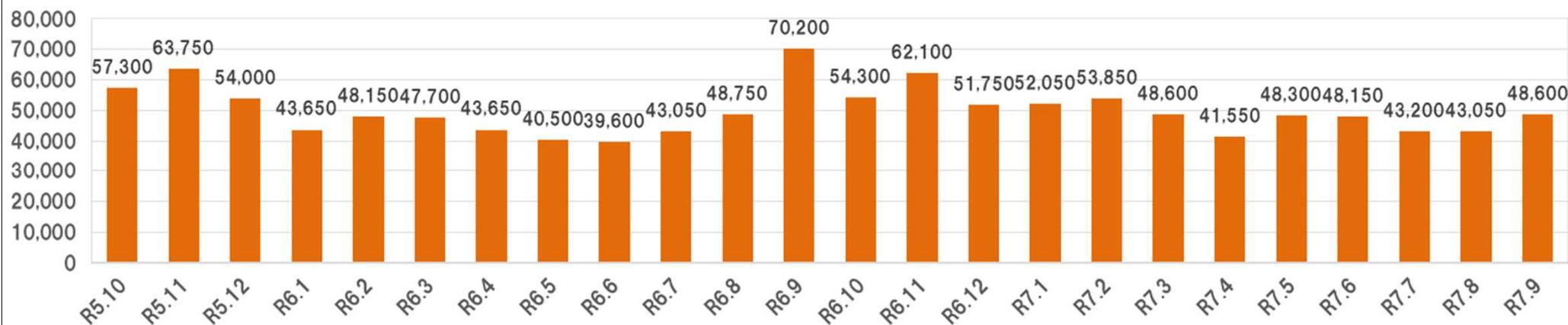
3) 利用実績

令和6補助年度合計: 2,738人 令和7補助年度合計: 2,904人(小学生以下含む)



4) 収入実績

令和6補助年度合計: 545,728円 令和7補助年度合計: 541,363円 (税抜、回数券収入含む)



5) 事業実施の適切性

事業は適切に実施された。

6) 目標・効果達成状況

延べ利用者数は、目標値である3,022人に対し、2,904人となり、目標を下回った。

※前年:2,738人(対前年比:166人増(約6.1%))

便平均利用者数は、目標値である2.16人/便に対し、2.05人/便となり、目標を下回った。

※前年:1.99人/便(対前年比:0.06人/便増(約3.0%))

町民一人あたりの利用回数は、目標値である0.93回/人に対し、0.87回/人となり、目標を下回った。

※前年:0.79回/人(対前年比:0.079回/人増(約10.0%))

利用者満足度は、「満足」と回答した割合が68.8%となり、目標値である80%を下回った。一方で、「やや満足」を含めた肯定的な評価の割合は81.3%となった。

※「満足」と回答した割合 前年:77.3%(対前年比:8.5ポイント減)

収支率は、目標値である12.1%に対し、9.77%となり、目標を下回った。

※前年:10.1%(対前年比:0.33ポイント減)

7) 事業の今後の改善点

これまで、福島町デマンドバス車両や路線バス車両を活用した町内イベントでの利用促進や、ニューズレターによる情報発信等を通じ、運行サービスの利用方法や料金体系に関する周知を図ってきた。こうした取組を継続する中で、利用者数は前年度から増加し、コロナ禍前の水準に近づきつつあるなど、利用回復の兆しが見られた。

一方で、本町の人口は引き続き減少傾向にあることから、今後も既存利用者の利用定着を図るとともに、新規利用者を含めた幅広い利用の拡大を意識した取組を継続していくことが重要である。

今後は、福島町地域公共交通計画に基づき、タクシーとの乗り継ぎ制度、運転免許自主返納者への支援、千軒地区デマンド型交通試験運行とのサービス連携等を進め、利用者の利便性向上を図り、利用促進につなげる。

引き続き、地域の実情を踏まえながら、持続可能な地域公共交通の確保に向けた取組を進めていく。

8) 地方運輸局等における二次評価結果

- ・ 自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・ いずれの目標も達成できなかったが、今後も地域公共交通計画に基づき、利用促進策の取組を継続することを期待する。
- ・ 持続可能な公共交通を維持する観点から、収支率や公的負担額といった事業効率の改善につながる目標を設定することもご検討いただきたい。